

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年3月27日

【評価実施概要】

事業所番号	30701027890
法人名	社会福祉法人 三田福祉会
事業所名	グループホーム すこやか
所在地	和歌山市和田字中沖592-6 (電 話) 073-475-6022

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成20年3月10日	評価確定日	平成20年4月9日

【情報提供票より】(平成20年2月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 11 人, 非常勤 4 人, 常勤換算 12.5 人	

(2)建物概要

建物構造	鉄骨 造り
	2 階建ての 1 階 ～ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食 円	昼食 円	
	夕食 円	おやつ 円	
	または1日当たり	1,400 円	

(4)利用者の概要(2 月 1 日現在)

利用者人数	16 名	男性	5 名	女性	11 名
要介護1	1 名	要介護2	5 名		
要介護3	5 名	要介護4	3 名		
要介護5	2 名	要支援2	名		
年齢	平均 81 歳	最低 70 歳	最高 94 歳		

(5)協力医療機関

協力医療機関名	岩橋歯科 稲田総合病院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

入居者により手入れされた季節の花々で出迎えられるこのホームは和歌山市の東南部の静かな田園地帯に立地しており、ホームのまわりはゆっくり散歩する環境にも恵まれて、季節を肌で感じる事も出来ます。職員は入居者のペースに添えるよう支援する事をモットーに日々ケアされており、若い職員が多く活動的で、ホーム内でのイベントや外出にも積極的に取り組まれています。入居者は併設されているデイサービスのレクリエーションに参加されたり、毎日の入浴や日々の家事等を通して楽しく過ごされています。また、家族会が3ヶ月に1回開催され、家族との関わりも大切にされています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
重点項目①	前回の評価の課題については、言葉遣いについて職員間で話し合ったり、ユニットで固定せずに入居者の情報を共有し、緊急時にも対応できるようにされたり、管理者だけでなく、職員も研修へ参加したり、職員と話し合いながら取り組まれています。 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価については各ユニットの管理者と職員2名で取り組まれています。自己評価を基に改善計画を具体的に挙げられています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議には入居者、家族、地域の住民が参加されており、民生委員や地域包括にも参加を働きかけしています。グループホームをよりよく理解してもらえるようにホームでの取り組みを報告をしたり、地域の情報を収集しています。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族との結びつきを大切にしており、家族がホームへ来られた際や3ヶ月毎に開催されている家族会でも、話しやすい雰囲気工夫し、話し合いながらケアや運営に反映しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 定期的開催されている地域の独居老人の会である食事会や地域の夏祭りに参加したり、社協主催のシルバー美術展にみんなで作った作品を出展し、みんなで観に行かれています。また、地域の小学生が手づくりのお土産を持参して社会見学で来訪したり、ホームの運動会には地域の方にも参加してもらっています。

2. 評価結果（詳細）

（ ☐ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基にグループホーム独自で入居者本位に楽しく明るく生活して頂けるよう職員で話し合って作られた理念が掲げられている。	○	地域密着型のサービスとして地域の中での関わりについて文面に盛り込み、目のつきやすい玄関やリビング等に掲げられることが期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に理念に立ち返り、管理者、職員は入居者本意のケアについて話し合い、認知症はあっても笑顔につながるように日々取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	定期的に行われている地域の独居老人の会である食事会や地域の夏祭りに参加したり、社協主催のシルバー美術展にみんなで作った作品を出展し、みんなで観に行っている。また、地域の小学生が手づくりのお土産を持参して社会見学で来訪したり、ホームの運動会には地域の方にも参加してもらっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価の課題については、言葉遣いについて職員間で話し合ったり、ユニットで固定せずに入居者の情報を共有し、緊急時にも対応できるようにも取り組まれている。今回の自己評価については管理者2名と職員2名で取り組まれている。自己評価を基に改善計画を具体的に挙げられている。	○	今後、自己評価は全職員で取り組み、それを基に話し合い、日常のケアを振り返ることが期待される。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には入居者、家族、地域の住民が参加されており、民生委員や地域包括にも参加を働きかけられている。グループホームをよりよく理解してもらえるようにホームでの取り組みを報告をしたり、地域の情報を聞いたりしている。		

グループホームすこやか

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	県の老人福祉協議会の研修や集団指導に参加し、市の担当者と顔を合わせ話をする機会を持っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族にはなるべくホームへ来て頂く取り組みをしており、家族が来られた際や電話などで暮らしぶりを報告している。3ヶ月に1回便りを発行している。金銭管理については来られた時に明細とレシート原本を手渡している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族との結びつきを大切にしており、家族がホームへ来られた際や3ヶ月毎に開催されている家族会でも、話しやすい雰囲気を工夫し、話し合いながらケアや運営に反映している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は働きやすい環境づくりを心がけており、職員と何でも話し合いケアに取り組んでいる。新任の職員にはできるだけ入居者との関わりを多く持てるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内では会議時に勉強会を実施している。また外部研修もきるだけ参加するようにしている。研修後はレジュメの閲覧をしているが、報告書の整備が充分ではありません。	○	研修後の伝達研修やレジュメの回覧を通して、全職員が共有出来る体制づくりが期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	和歌山県のグループホーム連絡協議会に参加しており、情報交換や交流をしている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人にも見学していただき、家族との面談中に他の入居者と接して雰囲気を掴んでもらうようにしている。入居される日には見学時に対応した職員が迎えるようにしている。居室づくり等、家族とよく話し合いながら馴染めるように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の会話の中で昔の事や考え方を聞いたり、ねぎや大葉や植木などの方法も教わっている。職員は何でも一緒にすることを基本とし、入居者同士も助け合いながら支え合う関係を築いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者との日々の会話の中から、思いや意向を把握するように努めている。意思疎通が困難な入居者については、表情を見ながら把握するように心がけている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いは日々の会話の中で、家族の意見はホームに来られた際に聞き、医師の意見を取り入れながら職員と話し合い一人ひとりの介護計画を作成しているが計画に日付、期間の設定がありません。	○	今後、介護計画作成時に日付を入れる事とその方の状況に合った期間設定が望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族、医師、職員の意見を聞きながら、状態に変化があれば随時見直しているが、変化が無ければ出来る事・出来ない事一覧と共に、6ヶ月から1年に1回の見直しとなっている。	○	今後、定期的に来れる事・出来ない事一覧と共に介護計画の見直しをする事が望まれる。

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	状況に応じて散歩、買物、美容院への送迎等個別に対応している。入院された時には早期退院に向けての支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医の希望を聞き支援している。家族を通してや直接電話等で医師と連携を図っている。また、近くの医院より月2回往診に来てもらっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在重度化やターミナルケアに向けて医療連携の申請を行っており、家族会の際に家族に希望を確認し、指針を説明している。重度化した場合は入居者・家族の意向を確認し医師、と相談しながら職員で方針の共有をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	家庭的な雰囲気の中で言葉遣いが慣れなれしくなってきたと考え、言葉掛けには特に配慮し、話し合っている。個人情報に関する記録等は事務所内の目につかないところで保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が全てリビングに集まって過ごすのではなく、それぞれの居室で好きなテレビを観たり、音楽を聴いたり、職員は一人ひとりのペースにそったケアを基本と考え、支援している。		

グループホームすこやか

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	日々のメニューは入居者と一緒に決定し、食材の買物にも週2、3回出掛けている。職員は同じテーブルで同じ食事をしており、出来る方には食事後は下膳してもらったり、掃除をしてもらっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴が好きな入居者が多く毎日入浴してもらい、一番風呂など入居者の希望に出来るだけ支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎朝お経を唱えたり、掃除や洗濯たたみ、花壇や畑の手入れなど出来るだけこれまでの生活の継続を支援している。手作りカレンダーの日付をかえてもらう事や新聞を取りに行ったり、金魚のえさやりなど役割も大切にしている。また、裁縫やあみもの、ぬり絵、カラオケなど楽しみ事も支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候の良い季節には散歩に行っており、買物や外食、併設のデイサービスに行ったり、ホームの外でのんびりしたり、出来るだけ戸外に出る支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、フロア入口には鍵を掛けずに自由な暮らしを支援している。玄関にはセンサーを設置している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署には書類を提出し、ホームで自主的に避難訓練を実施している。		

グループホームすこやか

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
。					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量は毎回記録している。入居者の状況に応じて、おかゆやとろみ、きざみ、ミキサー食等対応している。栄養バランスについては専門家によるチェックは現在受けていません。	○	今後栄養士である職員にチェックしてもらい、アドバイスを受ける体制をつくる予定であり、その取り組みの実現が期待される。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	花々で出迎えられる玄関や広々としたリビングには食卓とくつろぎの場が区別されており、ゆったりと過ごせる空間づくりとなっている。畳スペースもあり、花壇の手入れをしている入居者が季節の花を生けており、家庭的な雰囲気となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	出来るだけ馴染みのあるタンスやテレビ、布団や電気毛布、大切にしている大きな仏壇など持ってきてもらい、家族の写真を飾ったり、一人ひとりにあわせた居室づくりを支援している。居室も広く、希望により畳敷きの居室にすることも可能である。		